

## 4 農業者の所得確保を目指した新たなマーケティング戦略の推進

### (1) ニーズが多様化する中での需要確保と戦略的な生産販売体制の構築

- マーケティングの強化と戦略的な産地体制の構築
- 信州農産物の販路開拓
- 信州農産物の輸出促進

#### 【主な達成指標】

項目	H 17 年 基準年	H 24 年 目標
原産地呼称管理認定品数	312 品	415 品
農産物輸出量	2,035t(H18)	3,000t
信州オリジナル食材取扱登録店舗数	0 店	800 店
信州サーモン生産量	38t	150t
信州伝統野菜認定数	0 品	30 品

### (2) 地域の特徴ある農畜産物を活用した商品開発

- 信州オリジナル食材の認知度の向上とイメージアップ
- 地域の特徴ある商品開発

### (3) 原産地呼称管理制度の充実によるブランド化の推進

- 原産地呼称管理制度の啓発・普及

#### 【長野県原産地呼称管理制度とは】

農産物やその加工品が信州産であることを保証する制度で、農産物の価値をはかる基準を、「大きさ、色、形」などではなく「味・栽培方法・生産方法」等におき、消費者の視点で区別化し「確かさ」のブランド化を図っています。日本では、長野県が初めて本格的にスタートさせました。



「認定マーク」



「米」

「焼酎」

「ワイン」

「日本酒」

「シードル」

## 5 農業を支える技術開発と効率的な普及

### (1) 農業を支える技術開発

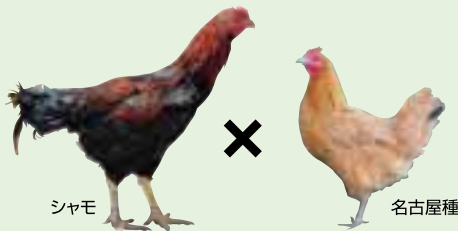
- オリジナル品種の育成、知的財産権の保護
- 安定生産技術・安全性の高い生産技術の開発
- 低コスト技術・省力化技術の開発
- 環境にやさしい農業技術等の開発
- 地球温暖化対策技術の開発
- 試験研究体制の整備

#### 【主な技術開発の課題】

主な課題	技術開発目標
オリジナル品種の開発、知的財産権の保護	りんご着色系早生品種の育成、レタス根腐病複合抵抗性品種の育成など
安定生産技術・安全性の高い生産技術の開発	夏秋どりイチゴの増収技術の確立、トルコギキョウ抑制作用型の高品質生産技術の確立など
低コスト技術・省力化技術の開発	リンゴわい化栽培用の優良大苗生産流通技術の確立、業務用レタスの低コスト・安定生産技術の確立など
環境にやさしい農業技術等の開発	土づくり・減農薬・減化学肥料・内水面生態系の管理・復元の技術
地球温暖化対策技術の開発	バイオマス利活用・効率的エネルギー利用・植物資源循環利用等の技術開発

### (2) 高度で効率的な普及活動の展開

- 試験研究機関との連携
- 普及指導員の資質向上
- 普及指導体制の充実
- IT技術を活用した情報発信
- 関係機関・団体等との連携強化と役割分担
- 民間と連携した高度な普及活動



シャモ

名古屋種



ニジマス

ブラウントラウト



畜産試験場が開発した「信州黄金シャモ」



水産試験場が開発した「信州サーモン」